磐城每日

社長 大和田與兵衛
發行所 福島縣平市15丁目12番地
株式會社 磐城每日新聞社
編集兼印刷發行人 遠藤孝倫
電話（平）二一〇番
定價1ケ月50円 1部2円
【夕刊・月曜休刊】

歡迎投稿

平市長候補者 鈴木氏の演說會
會場に溢れる聽衆感激

平市長候補鈴木辰三郎前市長の政見發表演說會は十一日夜折から烈しくふり出した雨をついて午後七時より長橋町性源寺を同日午後七時半より立町鈴木正平氏方で開催、雨天下然し泥濘をついて集り來つた聽衆は雨會場とも百名を越え、特に立町鈴木氏方では會場から聽衆が溢れる盛會さ、鈴木前市長の代理として阿部前助役、令息正男氏等が鈴木前市長の病態が刻一刻全快に近づいている事を說明、更に小松茂氏、木村淳氏、石山一治氏等現市議が次ぎ次ぎに立つて應援の熱辯をふるい現在までの平市政、事業等について納得の行く樣に說明、また馬目縣議、蓮沼縣會議長等も病床の鈴木前市長を心から應援、また福島現市議大原滿恭氏がわざ〱鈴木前市長應援のためわざ〱來平、全面的に現在までの市政え贊意を表し誠意をこめて應援の辯舌を振つた

强口候補の政見
滿場をうならす

また土建界の雄として鈴木市政え粉骨碎身努力した强口唯七郎氏は水道問題について政見を發表すれば滿場は唯拍手を持つてうづまり强口氏の政見に全面的な贊意を表した、かくて十一日夜の政見發表演說會は盛會裡に午後九時終了した、なお十二日は午後七時より市內才槌小路、古鍛冶方面で鈴木前市長の政見發表が行われる

縣議候補 馬目氏の政見發表
十三日以降の日程

自由黨公認縣會議員候補者馬目武之助氏の政見發表演說會は去る四月八日から各地において續けられて來たが十三日からの日程及場所は左の通りである

△十三日 市內三丁目、南町、仲間町、柳町、鷹匠町、梅ケ町、
△十四日 市內四軒町、櫻町、丹後澤、舊城跡、六間門、北目方部
△十五日 七軒町、久保町方面
△十六日 幕の內、鯨岡、下平窪方部
△十七日 中平窪、辰の口方部
△十八日 上平窪方部
△十九日 神谷方部
△二十日 白土、荒川方部
△廿一日 中山、上高久方部
△廿二日 五丁目、月見町七丁目方部
△廿三日 大工町、廣小路一帶
△廿四日 才槌小路、土橋方部
△廿五日 長橋、南町方部
△廿六日 平和通り、一、二丁目方部
△廿七日 三丁目、仲町、梅ケ町方部
△廿八日 四軒町、胡摩澤方部
△廿九日 七軒町方部 午後十時終了

市議候補 山野邊の奮鬪
十一日事務所を開設す

今回の理想選擧を標榜して平市議候補として出馬した本社編集長山野邊正善氏は其の後奮斗を續けているが十一日午後四時より市內大町山野邊陽氏宅において白土八幡神社加藤神官が齋主となつて嚴肅な事務所開所式並に當選祈願式を擧行した、折からの雨にもかゝわらず大和田本社長、鈴木前市長、馬目、蓮沼兩縣議、强口氏等の各代理、伊藤平製氷社長、令弟藤倉武雄氏クラス會代表石山信雄氏、齋藤常雄氏、市親戚關係から立候補した鹽演瑛氏、小野榮一氏、海外引揚者有志花澤氏外多數臨席、山野邊候補鯨岡事務長の挨拶續いて石山、齋藤、鹽三氏の祝辭があり必勝を期して山野邊候補の出陣を祝つた、事務所は市內六丁目一共榮合作社內（電話八三〇）事務長は同社專務理事鯨岡利男氏である

日雇勞務者の平均賃金上る
男女とも十圓以內

石城、平失業對策部會では十日午後一時より石城地方事務所に平、植田兩土木監督署、平戰災、治山事務及平職安所の各所長等並に市町村の勞務關係者が參集、十一日から日雇勞務者の現在の平均賃金男は百八十圓女百三十五圓を十圓以內引上る事に決定を見た、石城郡下の日傭勞務者は三千百八十名に上つているが、石城郡は特別の地區として獨特の賃金が支給されることになつた

選擧事務所と大黒屋を荒す

十日午後九時頃內鄉町字宮無職川崎丈男(三)は泥醉の上平市三丁目平市長候補諸橋久太郎氏選擧事務所に無斷侵入し騷がれて逃げ又同九時半頃三丁目大黒屋洋品店に侵入して衣類を盜み逃走せんとした處を窃盜現行犯で市署員に捕えられた

平市署のダニ狩り

小名濱の暴行男が九日午前八時檢擧された事については既報の通りであるがその後ダニ狩りを續行中の平市署では、市內四丁目村上清(二〇)を赤井村日曹赤井炭礦工務係橋本勇雄(三)さんに去る三日三日因緣をつけ全治一週間の傷害を負はせた容疑をもつて十一日午前十一時頃市內平窪において市署員に逮捕された

十二日平窪で一名逮捕す

闇米の運搬中 勿來署に擧る

勿來町關田南町一五農業金成一作(三)は九日午前十一時五十分頃、關本へ闇米を五六キロ（約一俵）自轉車に積んで賣りに行く途中勿來から關本への縣境で勿來町署員に捕つた

植田町で馬即死

十一日午後二時頃植田町岩間岩下鈴木米店前の縣道路上において錦町大倉南町三〇運送業山本信男さんが馬車をとめて米をつんで居たところ、錦町吳羽化學工場トラック運轉手大谷六郎さんのトラックのブレーキが自然にはづれて車がバックその下敷となつて馬が即死した、損害三萬圓

鎌田の衣類泥

平市鎌田町下河原人夫丹野十五(五二)さんは去る三月三十一日から九日までに自宅から衣類數六點時價六千圓を盜まれているのを十日發見同日平市署に屆出た

草野村で代表 平職安に要望

坂本草野村長外村民代表約二十名は十日午前十時三十分平職業安定所を訪れ同村に簡易失業對策事業を施行する樣要望した

今日の天氣

十二日晩は北東の風天氣は次第に回復しますが所によつては小雨がありましよう十三日は北西の風後南寄りのよい天氣ですが午後から次第に薄雲がひろがりましよう十四日南寄りの風くもり後小雨の天氣でしよう

故息博文儀逝の際は遠路態々御會葬下され且御鄭重なる御香奠を賜り御芳志の段誠に有難く深謝致します
乍略儀以書中御禮申上げます
昭和廿六年四月十四日
平市大町四五
父 三浦忠造
兄 三浦博忠
親戚總代 菊地雄三

平觀櫻會サーカス祭り

アメリカ新歸朝
渡米みやげ象の珍藝
◉キグレ空中サーカス團 一行八十名
◉間川觀物館
蜘蛛娘・蛇娘・ノ實演
大映々畫
◉不二大サーカス團
（最後に笑ふ男）に出演ノ
△期日 四月十四日～二十二日まで
△毎日 晴雨共（ヒル ヨル）通し興行
△場所 平市 平文化映畫劇場わき
平市 小關興行社

14日～20日迄
怪塔傳
尾張六十二萬石の安否をかけた五枚の地獄繪邪宗の白塔一族に挑む一代の風雲兒嵐呼ぶ阿修羅の血闘!!
主演 鶴田浩二 折原啓子 宮城千賀子 水原眞知子 月形龍之介
平館

インキはメーゼンインキ55圓
優良な各種万年筆は
西萬年筆店
平市中央通り 電話三九九番

平市四丁目（平郵便本局裏）
木村眼科醫院
木村正道
電三一六番

花より寶くじ
政府 第四回 10圓寶籤
1枚10で100萬圓25本―
以下7等10圓迄
獎金澤山
抽せん……… 4月30日
日本勸業銀行
平支店

小名濱町議 候補の横顔 齋藤誠吾君 (4)

齋藤君は新潟縣の出身で、本町に臀を据えたのは約十五年前であつたと思う、漁業に目をつけて小船から底引に推進し遂に底引漁業界の一權威者として、本町の永久的居住の邸宅を構え漁業組合の役員、町會議の立役者として、非常な誠實家と敬まわれ、着々と其地歩を確め、漁業に町政に靈腕を振い其の治績は擧くる遑まがない殊に新法に依る海區調整委員として活躍は其の足跡が偉大であろうと傳えられ漁業海區の出來事を水の流るるが如きさばきで他の委員をリードして其の治績は侮り難いものがある今や小名濱町は新らしき議員の任期中に市制を實施しようと云う氣構えが潮の如く湧き立つて居る、最只中に其の推進動力たる漁業にかけての權威者たり、町政にかけての指導者たる君の人材が加つて居る事が町を明るくする、一大原因であるので言うも語るもなく當選疑えなく、民衆は君の出馬を要望して已しまない人材である事を喜ぶものである

小名町議 候補の立會演説會 十八日開催出演順席決定

小名濱町議戰は愈々、中盤戰にのり舊町側二十二名舊玉川十名計三十二名の出馬となり十三日午後五時で立候補屆出での締切り全部の顔觸れを揃う譯けであるが青年團と地元新聞磐城日日の共同主催で來る十八日午後六時から各候補の立會演説會を開催する事となり、十一日午前十時町長室に於て抽籤を行い出演順を次の如く決定した、持時間は十分である

一、藤社大一
二、木田谷平
三、戸村喜久治
四、諏訪拓次
五、木村祐
六、小野作太郎
七、佐藤貞吾
八、飯塚勝
九、近藤かぬ
十、小野務平
十一、小野長壽
十二、坪内清
十三、齋藤誠吾
十四、小野禮一
十五、林林平
十六、野崎貞行
十七、新田元次
十八、小林仁一郎
十九、比佐政種
廿、馬上喜一
廿一、飯塚新四郎
廿二、西丸猛
廿三、高木嘉一郎
廿四、金澤勉
廿五、江尻三睦郎
廿六、長瀬啓一
廿七、小野直千賀
廿八、鈴木いせ
廿九、飯田宗秋
三十、立花秀吉
卅一、松原文吾
卅二、菅原勳

小名町議 財産處分の委員會 埋立地問題漸く解決す

小名濱町有財産處分委員會は既報の道り十一日午前九時から開催した、選擧戰を控えた委員の出足は鈍く一時間遲れて過半數になり委員長立花氏の開會の挨拶で問題となつた第二中埋立地舟田博氏の件を附議した土木課長から買收計畫に這入つた大地の隣接地關係を説明し結局地主の主張する埋立に依る損害は輕少である事が判明し地主所有の原野の傾斜面に投じた埋立土塊を除去すれば隣接地に迷惑はかからないがその工事費は一萬二千圓で可能であるとの案が生れ、其の額で承認すればよかろうとの決定を見、幸い地主代理草野隆美氏が出席したのを好機として、交渉した處、それでは困るとの返事を受けたので町側では隣接地一部分を除去し境界を判然と處理する事に決定水野町長に報告正午散解さしもの難問題とされた條件も僅かに一時間内外で解決を見た、出席委員は左の通り

立花委員長、比佐、馬上木村、小野(作)小野(務)の六名であつた

小名濱信用組合 十三日役員會を開く

小名濱町信用組合では十三日午後一時より當組合樓上に於て役員會を開き別項の如き諸項を附議する事となつた

附議事項
一、昭和二十五年度決算書並に利益金處分案に關する件
二、昭和二十六年度事業計畫書案に關する件
三、工事許可概要に關する件
四、役職員待遇向上に關する件
五、機構増施による殘員増員に關する件
六、建築材檢査の件
七、總代會日時決定に關する件

石城淸酒の品評會 入賞銘酒一位から七位迄

石城酒造株式會社主催になる第一回淸酒品評會は平市公會堂日本間において八日午後二時から大藏技官鈴木不二雄氏を審査長として盛大に開催され、嚴重審査の結果次の銘酒が入賞した

△優等賞（一位から七位まで）内郷町四家酒造場の「福美」第八位小名濱町清水屋酒造場「清世界」第九位内郷町四家酒造場「福美」第十位三坂村大竹酒造場「竹仙」第十一位永戸村會田酒造場「正駒」特選賞（第十二位より第三十六位まで）第十二位永戸村會田酒造場「正駒」第十三位磐崎村大平(正)酒造場「盛鯛」第十四位永戸村會田酒造場「正駒」第十五位勿來町大平(睦)酒造場「花井の譽」第十六位小名濱長瀬酒造場「磐城櫻」第十七位平市松吉屋酒造場「鶴仙」第十八位三坂村大竹「竹仙」（以下酒造場を約す）「竹仙」第十九位永戸村會田「正駒」第二十位平市松吉屋「鶴仙」第二十一位植田町鷺「清福」第二十二位高久村本間「福鶴」第二十三位三坂村大竹「竹仙」第二十四位小名濱長瀬「磐城櫻」第二十五位小名濱清水屋「清世界」第二十六位植田町古川「稻萬歲」第二十七位草野村豊田「松の友」第二十八位植田町古川「稻萬歲」第二十九位内郷町四家「福美」第三十位高久村本馬「福鶴」第三十一位高久村鈴喜「小錦」第三十二位永戸村會田「正駒」第三十三位植田町鷺「清福」第三十四位植田町古川「稻萬歲」第三十五位草野村豊田「松の友」第三十六位磐崎村大平(正)「盛鯛」入選賞第一位平市松本「白馬の雪」第二位内郷町馬目「近盛」第三位鹿島村佐原「御代の鶴」第四位高久村矢吹「清盛」第五位平市山崎「天宅」第六位平市丸玉「たいら正宗」第七位小名濱磐崎屋「長生」

各町村の農務關係者 二十六年度興農運動を協議

石城地方事務所では十二日午前十時より市内公會堂において各町村の農務關係者農業調整委員會書記、農協關係者等百五十名を集め縣農政課加藤技師の來平を求め、昭和二十六年度興農運動協議會を開催する、新年度における食糧増産興農運動推進施設は如何にあるべきかについて討議研究されることとなつた

小名上水道完成 十六日竣行式擧行

小名濱町上水道改良工事は廿五年一月着工爾來一ヶ年間の歲月を費し水道設備の充實と、増補改良工事の必要上、工事の完成を急いでいた處此程遂に完成し、給水戸數の増加に對しても、給水上遺憾なきを期し得るに至つたので、來る十六日午後一時降水場に於て竣工式を擧げ、祝福する事となつた、これで本上水道の餘力は江名町方面にも分水し得る貯水し得る事となつた

拾い讀み

「ついうつかり」でもないだろうが春ともなれば猫はネヅミを取るのを忘れるという、「第三回平競輪宣傳用のポスターは春らしくて大いに結構」但し櫻の花びらが一枚多く六枚となつている、民主化されて一枚ふえたのか、僕等は學校で五枚とならつたのだが、というのが吾が親愛なる愛讀者市内C君から寄せられたアドバイス？の要点らしい!!筆者もついうつかり、まじ〳〵とポスターを眺めて見た、なる程六枚たしかに六枚それで競輪室にモシモシと電話すれば「あれわね、八重櫻むつまじ櫻の意味でしてね」と首をまげた!!手を振つたり!!どうもこれは「ついうつかり」の組らしい、おゝ偉大なるミステイクー（柳風子）

各種優秀品豊富
生地と既製服
高級紳士用 革カバン 洋品類
勉强で評判の店
鈴木勘氏商店
平市三丁目平和通 電732

本場＝自慢
牛豚肉
配達迅速
第一線屋
第二線屋
第一電話五三九番
第二電話七九四番

外科
外科一般 整形外科 性病科 皮膚科 肛門科 婦人科
松村亨
胃腸
內科 胃腸科 呼吸病科 神經病科 放射線科
小林喜久雄
松村醫院
平市南町 電話一〇七番

磐城名産 鰹節 鹽辛
皆様の魚店
一丸市屋
平市四丁目 電話二一三番

午前宅診 午後往診
内科 外科
小野醫院
院長 小野離
石城郡江名町北町一〇四 電話二〇七番

今日も元氣で
くすり

關内藥局
平四丁目 電話四〇番

あらゆる印刷は
大和田印刷所へ
平市中町 電七二九番